

キャンプ砂防2024 in天竜川 開催概要

2024

8/26 ▶ 8/30

アルプスの山々に囲まれ、壮大な自然を有する天竜川上流域は、豊かな自然の恵みを楽しむ一方で、急峻な地形や脆い地質によって過去から多くの土砂災害に見舞われてきました。

天竜川上流河川事務所では土砂災害から伊那谷の暮らしを守る「砂防事業」と「直轄地すべり対策事業」を行っており、キャンプ砂防では砂防事業だけでなく、直轄地すべり対策事業についても学ぶことができます。

また、天竜川上流域の特徴を活かし、毎年「太田切川源頭部調査（木曾駒ヶ岳登山*標高2956m一部ロープウェイ使用）」を実施します。参加したキャンプ生からは、「巨石の供給源を身をもって実感することができた」と意見をいただいております。参加者には、砂防・地すべり対策事業の重要性を体感していただきます。

概要

開催日程：8月26日（月）～8月30日（金）

テーマ：中央・南アルプスに生まれた南信州の自然や文化に触れながら砂防事業について学ぶ。

参加したキャンプ生の声を踏まえて

「キャンプ砂防2024 in天竜川」では、じっくり見たり考えたりする時間を確保し、1箇所あたりの見学時間を長くするなど、伊那谷になじみのない方でも、砂防事業とともに歩んできた伊那谷の暮らしや文化に興味をもてる5日間にします。



水辺空間の利用や景観を考慮した太田切床固工群



昭和36年豪雨により崩落した大西山

キャンプ砂防2023 in天竜川



日時: 令和5年8月21日～25日 (5日間)

参加者: 筑波大学1名、東京都市大学1名、立命館大学大学院1名 計3名

「南信州の自然に触れながら、砂防事業について学ぶこと」をテーマに「キャンプ砂防2023in天竜川」を開催しました。参加者は、砂防堰堤や地すべり対策施設の集水井などを見学し、砂防事業の効果について学びました。また、太田切川源頭部の調査や中央構造線博物館で伊那谷地域の地形や地質について知り、砂防事業の重要性について理解しました。砂防事業に関連して、小渋ダムや美和ダムの見学も行いました。

開講式



太田切川源頭部の調査



ドローンの操作体験



小渋ダム見学



中央構造線博物館で地質学習



与田切川セルダムの見学



集水井内部の見学



美和ダムストックヤード見学

